

# せいろう

Seiro Town

# 議会だより

Vol.123

6月議会

平成30年  
7月27日発行

新潟県聖籠町議会



声を限りのエール交換  
(蓮野小学校運動会)

6月議会主な質疑

2~3ページ

11人が一般質問

8~18ページ

平成30年第1~3回臨時会

19~20ページ

議会基本条例を学ぶ

21ページ



▲吸いすぎに注意しましょう！

### たばこ税が増収になると期待

**【税務財政課長】** 今回の改正では、町民税の基礎控除額の改正やたばこ税の改正などがあるが、当町としては、たばこ税が約3千万円増収になるのではないかと期待している。

## 条例制定

### 人権に関する町民の意識を啓発

#### 人権教育・啓発推進計画策定委員会条例

人権教育・啓発推進計画策定委員会の制定、税条例等の一部改正など9議案を全て可決。

平成30年6月19日～25日(会期7日間)

課としては、計画の策定をいつ頃までにと考えているか。

#### 今年度中に策定をしたい

**【町民課長】** 初回の委員会を7月中に行い、委員会の議論の進捗状況をみながら、平成30年度中に計画を策定したい。

#### 委員の中に女性問題の研究者を

**【宮沢光子議員】** 人権問題と男女差別の問題は、根底に同じものがある。この策定委員の中に、女性問題などの専門家を入れるべきではないか。

#### 主な質疑

#### 計画の策定はいつ頃か

**【宮沢光子議員】** 委員の任期は2年であるが、担当

#### 学識経験者を考えている

**【町民課長】** 1号委員は、学識経験者の枠であるが、

#### 固定資産税を3年間免除の理由は

**【宮沢光子議員】** 町のホームページに「生産性向上特別措置法」に基づく固定資産税を3年間免除とする方向で検討している。と載っている。今回の税条例の改正にどう反映しているか。

#### 計画に基づいたものである

**【税務財政課長】** この税の特例にあたっては、「導入促進基本計画」の国の同意が必要となっている。中小企業が、生産性向上のため、設備投資を行った際に、固定資産税の3年間免除を受けるには、計画に基づいたものであ

女性問題等の観点から、大学教授を考えている。討論 なし 採決 全員賛成で可決



#### 国から同意を得た

ることが必要になる。**【産業観光課長】** 策定した「導入促進基本計画」は、6月13日付で、国から同意を得た。今後、町のホームページや広報紙、商工会を通じて、中小企業に周知を行いたい。基本計画では、認定する企業の目標は、年間4件である。

討論 なし 採決 全員賛成で可決

## 条例改正

### 町の増収につながるか

#### 税条例

地方税法等の一部を改正する法律並びに関連法令が公布されました。これに伴い、町の税条例等の一部を改正します。主なものに、個人の町民税において、基礎控除額に所得要件をつけました。このことによって、

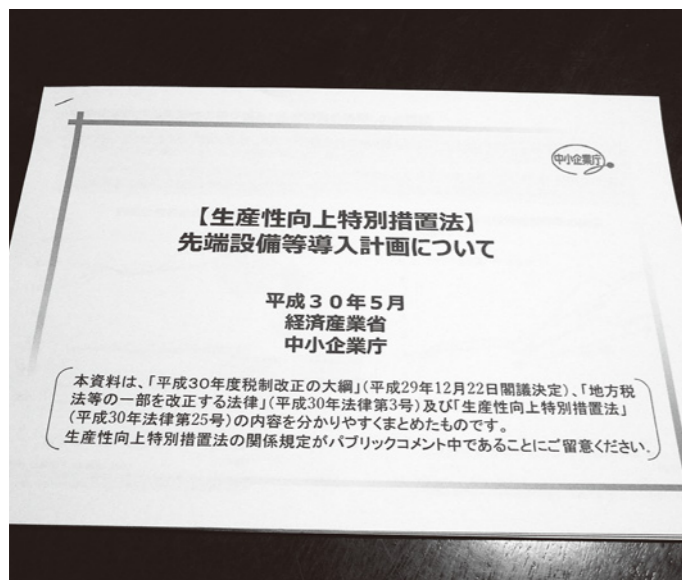
#### 主な質疑

#### 税改正で町に還元されるものは

**【五十嵐利栄議員】** 今回の国の税改正で、さまざまなものが出てきたが、全体を通して、当町に還元されるものは何か。

高額所得者(2500万円超え)に基礎控除がなくなりません。加熱式たばこを製造たばことする定義を定めました。たばこ税の税率を平成30年10月1日から3段階で引き上げます。「加熱式たばこ」に係る「紙巻きたばこ」の本数への換算方法を「重量」と「価格」に段階的に変更します。(平成30年10月1日から5年かけて変更)

生産性向上特別措置法に規定する計画に従って取得した設備に対して、課税標準をゼロにします。



▲町の中小企業の活性化につながる計画





▲冷蔵庫はフル活動でした

### 保存期間はどの程度か

〔中村恵美子議員〕 サンプル保存用の冷蔵庫購入として備品購入費が計上されている。サンプルの保存期間はどの程度か。またサンプルの保管理由は、

### 一週間程度である

〔子ども教育課長〕 サンプルの保存期間は一週間程度である。

度である。冷蔵庫は給食センター建設当初から使用している。献立を作るためにサンプルを保管するものである。

献立用とは別に給食で提供された食材を冷凍保存する冷蔵庫もある。保存期間は二週間程度である。

### 休んでいる職員は

〔五十嵐利栄議員〕 幼稚園

費内で臨時職員賃金が計上されている。現在、長期の休業者も含めて休んでいる職員は全体で何人か。

### 全体で3人である

〔総務課長〕 町長部局では産後休暇が2人、教育委員会においては育児休業者が1人である。現在、長期休業者はいない。

### 謝礼の額は

〔宮沢光子議員〕 あやめ寮が民間委託になることで老人ホーム入所判定委員謝礼が計上された。今後謝礼は発生するのか。

### 1回につき5千円

〔保健福祉課長〕 民間委託ではなく、指定管理である。判定1回につき5千円、昨年の件数から、6回分計上した。指定管理期間である5年間は、同様に謝礼が必要となる。

# 「別條公会堂の屋根瓦修繕へ」

## 一般会計補正予算

### 主な歳入

■町道整備事業債 810万円

### 主な歳出

■公会堂改修等工事費補助金 225万円

■聖籠中学校エアコン入替工事 324万円

### 主な質疑

平成30年度一般会計補正予算は既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1593万円を追加し、総額69億5192万円と定める予算を全員賛成で可決しました。主な質疑は歳出で補装具給付事業等扶助費、聖籠中学校エアコン入替工事、幼稚園費内の臨時職員賃金などについて行われました。

### 故障の原因は

たと聞くと、劣化に伴うものか。他にも修理が必要箇所はないか。ことも園、3小学校含め、エアコンの定期点検を行うべきではないか。

### 老朽化による故障である

〔子ども教育課長〕 室外機が老朽化により故障したので入れ替え工事となった。

その他、一部故障したのもあるが部品交換で済んでいる。各園、学校で点検を行っている。

### 見込み何人分か

〔宮沢光子議員〕 補装具給付事業等扶助費が増額となっているが何人分を見込んでいるのか。

### 10件程度の見込み

〔保健福祉課長〕 補装具の種類によって単価が異なるが、おおむね10件程度を見込んでの増額である。



▲室外機は傷みが早い

## みなさんの 請願・陳情

第2回定例会では、地域住民より直接の声となります。まず請願1件を審査し、全員賛成で採択となりました。

### 採択した請願

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書

〔提出者〕 新潟県教職員組合下越支部 執行委員長 中村克行

討論 なし  
採決 全員賛成で採択

### 意見書を国に提出

第2回定例会で1件の意見書が提出され、可決しました。可決した意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

# ズバリ直言!!

## 一般質問 町政を問う

- 6月議会では、11議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、8月末に町ホームページに掲載される予定です。

### 11議員が質問

- |  |   |   |  |   |  |
|--|---|---|--|---|--|
| <p><b>中村 恵美子</b> 議員 P13</p> <p>1 増えてきた太陽光発電はどう思う<br/>2 新小学校1年生の入学準備金を<br/>3 給食費の無料化を</p> | <p><b>宮沢 さやか</b> 議員 P12</p> <p>1 登下校時の見守りシステム導入を<br/>2 フツ化物洗口の現状は</p> | <p><b>五十嵐 利栄</b> 議員 P11</p> <p>1 飲んだら乗るなどの徹底を<br/>2 米政策大転換どう乗り切る<br/>3 学力向上の基本構想は何か</p> | <p><b>宮沢 光子</b> 議員 P10</p> <p>1 どう思う国の幼児教育無償化<br/>2 12年カリキュラムに付加したいものは</p> | <p><b>長谷川 六男</b> 議員 P9</p> <p>1 町長選挙出馬の考えは<br/>2 町のイメージソング復活を</p>                           | <p><b>小川 勝也</b> 議員 P8</p> <p>1 いじめ防止対策答申の対応は<br/>2 町民会館の劣化調査診断業務は<br/>3 渡邊町長7選出馬の大義は</p> |
| <p><b>小林 政栄</b> 議員 P18</p> <p>1 正庵排水路の改善を<br/>2 圃場整備事業どうする<br/>3 遊休農地対応どうする</p>          | <p><b>小川 益一郎</b> 議員 P17</p> <p>1 渡邊町政の問題点を正す</p>                      | <p><b>田中 智之</b> 議員 P16</p> <p>1 本町はお金持ちの町か<br/>2 子どもたちの学力向上策は</p>                       | <p><b>渡邊 豊</b> 議員 P15</p> <p>1 行政改革の具体的な中身は<br/>2 就学前教育どうする</p>            | <p><b>青木 順</b> 議員 P14</p> <p>1 ネット環境どう付き合うか<br/>2 デマンドタクシー試験的にできないか<br/>3 まだまだできるふるさと納税</p> |  |

### 行政報告



わたなべ 渡邊町長

▼一般会計決算状況は歳入決算額72億6150万3千円、歳出決算額68億6655万円4千円、繰越事業費繰越財源614万2千円で、3億8880万7千円の黒字決算。

▼4月から、聖籠町行政改革推進本部に、「改革部会」を設置し、「町の全事業を対象としたヒアリングや検証作業を行っています。

▼5月に、空き家の売買、

- 行政改革推進本部に「改革部会」を設置
- 7月上旬より、「ざぶくん館」の源泉掘削工事
- はすがた園50床から70床に増床、順次受け入れ

交換、賃借についての情報の提供、助言を無料で受けられることを定めた「聖籠町空き家等活用コンサルティング実施要綱」を整備しました。

▼「ざぶくん館」の掘削工事は7月上旬予定で、安定した温泉の供給を確保するため、1日も早く工事が完成するよう、進めていきます。

▼地域における支え合いづくりの推進役となる生

活支援コーディネーターを、町社会福祉協議会への業務委託により4月1日から配置。

▼5月1日、特別養護老人ホーム「聖豊はすがた園」の名称を「はすがた園」に変更。聖籠福祉会としてスタートし、特別養護老人ホーム事業を50床から70床に増床。

施設の準備が整い次第、順次受け入れを行うべく計画であると聞いています。

▼「新潟開港150周年記念事業」そして「海フェスタにいがた」が7月14日より始まります。

▼本年4月から近藤教育長が就任し、教育行政における責任者として、町教育行政の推進をスタートしています。

▼放課後児童クラブは、6月1日現在での入会児童数は、蓮野32人、山倉46人そして亀代49人の合計127人。昨年度同日比で1人増です。

▼子ども家庭相談センターでは、今年度は専任のセンター長を配置し、体制を強化。引き続き関係機関などと緊密に連携し、支援を行っていきます。

### 読者の声



むしや 共吾 さん (網代浜)

「読者の声」への投稿依頼を受け、当地へ越してから十数年経ちますが、正直なところ、まだまだ知らないことばかりの自分に、果たしてふさわしい記事が書けるのか疑問がありました。しかし、まず思いついたのが町の自然環境の素晴らしさです。

東に二百名山「二王子山」を従えた「飯豊連峰」、西には佐渡島・粟島が浮かぶ日本海の網代浜・次第浜海水浴場。

そして、この自然豊かな町は、春は「桜の加治川堤」、二宮邸の「バラ園」。春夏はサクランボ・ブドウ・梨等

の「果樹の里」、アルビレックスホームタウンや老若男女が利用している体育施設を有する「スポーツの町」。さらに、子どもの教育、高齢者の福祉施設の充実、日本海の貨物の拠点「新潟東港」等々、恵まれていた町だと感じておりました。

「議会だより」は、正直なところ、毎回斜め読みで、深く関心を抱くことはありませんでした。今回、改めて拝見したところ、子どもたちの感想文の中に、「見ている」「読んでいない」「正直な感想が掲載されています。これは自分を含め、大人にも言えることではないでしょうか。

しかし、「議会だより」は、町内情勢を知りたい、最良の機関誌であることは間違いないです。

町民が、自由に意見を述べたい意見交換ができる誌面(例えば折り込みハガキを入れ投稿)、誌面の片隅に誰もが興味を抱くパズル(例えば詰め将棋・囲碁等)、難しい用語は用いない、活字を大きくする等、より親しみやすい誌面にしてはいかがでしょうか。

町民の代表の英知を大いに発揮して、読みやすい「議会だより」に期待しています。

### 読みやすい「議会だより」に期待する



おがわ かつなり 議員 小川 勝也

# いじめ防止対策答申の対応は

## 教育長 いじめを見逃さない体制づくりを進める

**問** いじめ防止等対策委員会よりの答申についての対応状況は。

**教育長** 答申を真摯に受け止め、答申に照らして教育委員会、学校が連携して取り組んでいる。

**問** 新潟市での小学生殺人事件発生後、登下校見守りの対応に変化はあったか。

**教育長** これまで同様に保護者、地域、ボランティア団体、町当局からの支援を受け、安全確保、見守りに努めている。

**問** 本年度の保育園、待機児童等の問題は発生していないか。

**教育長** 6月1日現在、保育園入所の待機児童は発生していない。

# 町民会館の劣化調査診断業務は

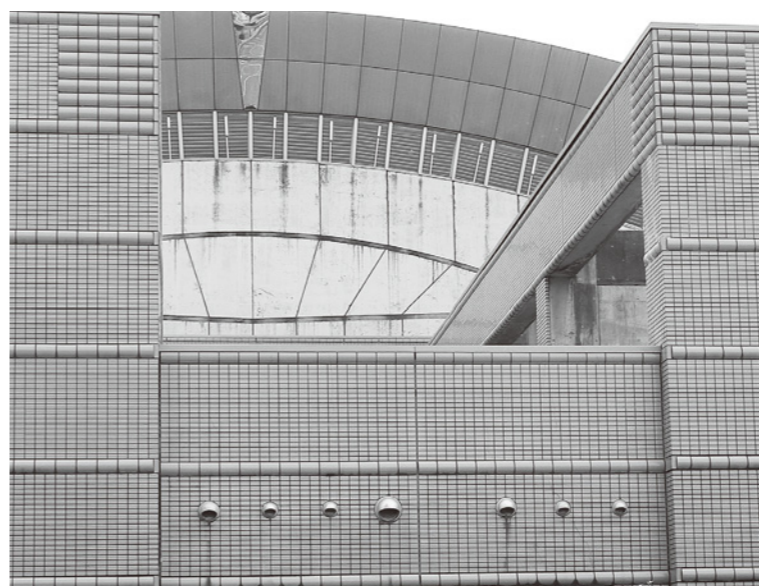
## 教育長 7月中に着手し期間は6カ月

**問** 町民会館建物劣化調査診断業務は行ったか。それによる補修工事は予定しているか。

**教育長** 7月中に着手、期間はおおむね6カ月を要する。緊急対応が必要な場合を除き、診断に基づく補修工事は平成31年

度以降に行う予定。**問** 昨年度施工した公共事業で、手直し工事は発生していないか。

**町長** それぞれの工事の監督員が工事の品質管理や、施工状況の確認を適正に行っている。手直し工事は発生して



▲待たれる調査・改修

**問** 今年度予算で見送っている、地場物産館の隣のスペースに対しての計画、予定はできたか。

**町長** 経費をかけない形で観光施設として、また、農家の皆さん方の「とれたて市場」のことも含めながら、農業振興に寄与するか検討。

いずれにしても、地場物産館建物全体の老朽化があり、さまざまな角度からさらに検討を深めていく。

# 渡邊町長7選出馬の大義は

## 町長 町民が判断する

**問** 町長が、7選をすることによる町民に対するメリットはあるか。

**町長** 私が選挙で町民に公約として約束する政策を、町民がどのように判断するかで決まるのではないか。

**問** 長期の町政で、町政全般において、職員能力を十分発揮することを阻害していないか。

**町長** 職員には事務事業遂行のために求められる能力開発やそのための必

要な研修、自己研さん、自己啓発を発揮してもらっている。前向きな取り組みに敬意を表している。

**問** 町長自身が、各委員会の委員選定において、3期の上限を設けていたが、町長が7選を目指すことは、整合性がないと思うが。

**町長** 質問の趣旨がわからないので、答弁は控える。

# 町長選挙出馬の考えは

## 町長 町民の信任を賜りたい

**問** 厳しい財政状況の中、平成30年度予算がスタートした。このような難局を乗り切るには、町政の継続性と先見性、卓越した政策手腕、そして強力なリーダーシップが不可欠だと思う。

また、町民と議会と共に自立、協働のまちづくりを推進し、町民の期待と負託に応えるべきだと考える。

意を表し、高く評価している。確かに多選という批判は少なからずあるかとは承知している。しかし、渡邊町長は選挙の都度、町民からの審判を受けて、結果として今日に至っているわけだから、多選の弊害はないものと理解している。

7期目となる次期町長選出馬に向けて、ぜひとも安定した町づくりの担い手として、またリーダーとして養った行政経験や手腕を発揮し、人脈を

駆使して再度町政を担当していただきたい。出馬を期待する。

**町長** 私は初当選からこれまで町民の温かい理解と協力を賜りながら、長きにわたり山積していた

行政課題の推進と町政運営に心して、1期ごとに町民の審判を受けて務めさせてもらった。6期24年という歳月は、確かに長い歳月と理解している。また、多選という批判、懸念も真摯に受け止めている。これまで私を支え、応援してくれた後援会からの強い要望や、多くの町民の負託や指示に応えるべきかどうか熟慮してきた。

このたび、再度かかる行政課題に取り組んでいきたいと考え、初心に返りながら誠心誠意、全身全霊で町民の信任を賜りたく、出馬することを決意した。

**問** 聖籠町の歌として生まれた素晴らしいイメージソング「愛がとまる前に」は、今ではほとんど聞くことがない。

町民から懐かしく惜しむ声が聞かれる。眠らせておくことなく、後世に歌い継がれていくように、町民の耳に慣れ親しんでもらい、町民誰もが町の歌だとわかり、町のイメージアップにつながるよう提案する。

**町長** 町民が集う場やイベントで、普及の機会を増やし、多様な形でのPR展開をして定着を図り、浸透できるように努めていきたい。

**教育長** 町民への普及に心掛け、多くの方々の耳に触れるような、環境づくりは必要だろうと思っている。



はせがわ むつお 議員 長谷川 六男



▲政策発信の部屋

# 町のイメージソング復活を

## 町長 普及の機会を増やしていく



みやざわ みつこ 議員

# どう思う国の幼児教育無償化

## 町長 予算を平等にと国へ要望した

**問** 来年10月から、国策で、幼児教育・保育の無償化を全面実施する方向で調整に入ったと報道されている。実施されれば、全国の自治体で幼児教育・保育が無料になる。

**町長** 当町は、平成18年度から町立幼稚園（こども園）の通常保育料4千円を無料にし、子育て支援策の一つだとPRしてきた。国の幼児教育無償化が実施されれば、聖籠町の独自性は失われる。町としての新たな施策をどう考えているか。

**町長** 町の新たな子育て支援策は、今後、保護者や関係団体との懇談会を開催し、幅広く意見を聞き、検討したい。しかし、支援策を進めるためには、



▲広い園庭で伸び伸びと遊ぶ（亀代こども園）

財源が必要である。国の無償化政策の財源は、消費税の10%実施である。国が、この財源の扱いを交付税とすれば、当町は、不交付団体なので、事実上、町に予算は入らない。

**問** 人口問題等で、国が取り組む施策なので、予算を平等にと国へ要望した。今後、幼児教育が無

料ということは、町のPRにならない。これからは、特色ある幼児教育と保育の質の向上を表に出し、小・中学校につなげなければいけない。世間に誇れる人材を育てていくことを、町のPRにすべきと思うがどうか。

**町長** 町の幼児教育無料の施策は、不本意であったが、社会の傾向や実態

を先取りした。本来、子どもの育成については、内容の充実、質の向上だと国の子育て会議で議論してきた。

**問** 「聖籠町生涯活躍のまち構想」が策定された。構想の推進について、全庁的な推進体制で取り組むと、構想の冊子に書かれている。具体的にどういうものか。

**町長** 庁内でワーキンググループを立ち上げた。構想に基づく事業を、民間活力を導入しながら、多世代調整型のエリアを想定し、事業化に取り組みたい。今後、町民と意見交換や情報を共有する。

## 12年カリキュラムに付加したいものは

教育長 西地 一化したものではない 地域の特色

**問** 「幼・小・中の12年カリキュラム」に、新教育長として、付加したいものはあるか。

**教育長** 豊かな学びを保障するには、画一化したもので取り組むのではなく、地域色を生かしながらと考えている。

**問** 以前に、3小学校で地域の安全マップが作られ、防犯ベルが貸与された。今、どういう現状か。

**教育長** 安全マップの更新に取り組みとともに、危険箇所を保護者と共有したい。防犯ベルは新一年生に譲与している。

# 飲んだら乗るなの徹底を 町長 飲酒運転ゼロを目指す

**問** 新潟県警が過去5年間の県内市町村別運転免許人口1万人当たりの違反者数を発表した。ワースト1は関川村で57・67人。以下湯沢町、南魚沼市と山間部の市町が続く、聖籠町は全体のワースト6位。いわゆる平野部ではワースト1の26・51人である。

車社会のなかで飲酒運転は極めて悪質であり、撲滅に向けてどのような取り組みを行ってきたか。そして今後どのような取

り組みを考えているか。

**町長** 交通安全指導員が主体となり、警察、交通安全協会、交通安全母の会など、各機関や団体と連携し、さらには町内酒店や飲食店への訪問による呼び掛けなどを行っている。

今後も年間を通してさまざまな活動を行い、飲酒運転撲滅を図っていく。

## 米政策大転換どう乗り切る

### 町長 価格暴落時は緊急措置を

**問** 今年は47年間継続されてきた米の減反政策と、戸別所得補償が廃止された大転換の初年度である。農家の自由な経営判断と言いつつ、主食用米の作付が過剰気味になれば、価格の暴落を招くことは、十分予測される。価格暴落が発生した場合、「目安」を守り協力した農家は大きな打撃を受ける。聖籠町の4月末の主食用米の作付見込は、「目安」数値を52ヘクタール（7・8%）上回る

712ヘクタールである。価格が暴落した場合、町として、「目安」を守り協力した農家に対して対応策を考えているか。

**町長** 農業経営の基本は自らの経営判断や販売戦略に基づいて、売れる米づくりを目指すことである。価格が暴落し、緊急的に措置が必要な場合は、そのときに検討したい。今後JA北越後とも連携を深めながら、推移を見守っていく。

## 学力向上の基本構想は何か

### 教育長 日々の授業の改善が基本

**問** 10数年ぶりに見る町の幼・小・中学校の印象はどうか。

**教育長** 14年前と単純に比較できないが、子どもたちは落ち着いて学習している。

**問** 昨年「中学校」で発生した、いじめの再発防止策の基本は何か。

**教育長** 1月の第三者委員会への答申を真摯に受け止め、対応する。

**問** 町の教育現場での課題は何か。

**教育長** 自己肯定感を高め、学力・生活両面で効果を上げること。

**問** 学力向上の構想をどう考えているか。

**教育長** 生きる力の育成と社会性を身に付けさせ、日々の授業の、改善と基本的構造を統一する。



▲飲酒運転の根絶を



いからし 五十嵐 としえい 議員



なかむら えみこ 議員

**問** 平成30年3月18日新潟日報で次のように報道している。

「県内送電網空き容量ゼロ『東北電再生エネ導入困難に』東北電力(仙台市)の送電網の空き容量が県内全域でゼロになり、太陽光や風力など再生可能エネルギーによる新たな発電事業計画を立てるのが事実上、不可能になったことが、17日、分かった。

県外につながる基幹送電網の容量が、既設・計画中の発電施設で埋まったため、抜本的な解決

には基幹送電網の増強が必要だが、東北電は、県内での増強計画はない、としている。」

空き容量がない中、本町で増えてきている太陽光発電について、どう考えているか。

**町長** 事業所等における売電目的の太陽光発電施設については、平成25年度に6件、26年度、27年度に各2件、28年度、29年度はゼロ件で、事業所における増加傾向は見込めていない。

また、各家庭の設置状況は把握できていない。



▲安定した電気供給を

## 町長 慎重に推進していく必要がある

# 増えてきた太陽光発電どう思う

現状で再生可能エネルギーを導入することで生じた買い取り費用は、電気料金に上乗せする賦課金という形で一般家庭をはじめとする利用者が負担する仕組みである。

バランスを考え、慎重に推進していく必要がある。

**問** 東北電力や柏崎刈羽原発からの送電網での活用について、申し入れを行う考えはあるか。

**町長** 送電網活用の申し入れは原則として、送電網を利用したいと考える発電事業者が行うことになっている。

## 給食費の無料化を

### 教育長 研究を進めたい

**問** 新潟県内で給食費の無料化が進み、新発田市、見附市、関川村、出雲崎町、粟島浦村が行っている。子どもの貧困を予防する観点からも、学校給食費の無料化を行うべきでないか。

**教育長** 給食費については、保護者負担の軽減か、子どもの健やかな成長を支えるために行政として取り組んでいくか、調査研究を進めたい。

## 登下校時の見守りシステム導入を

### 教育長 現状導入は難しい



みやざわ さやか 議員

**問** 近年児童が犯罪などに巻き込まれる悲惨な事件が後を絶たず、地域における児童の安全確保が喫緊の課題となっている。

最近では、ICタグやGPS機能付き通信端末、電子タグ読取装置や防犯カメラ等を活用した登下校の管理(児童見守りシステム)の導入を実施している自治体もある。小学校の安全対策の一環として、児童の登下校状況を確認するシステム等を導入してはどうか。

**教育長** 本システムが有料のサービスである可能性と、システム導入後の管理の難しさが考えられるため、現状導入は難しい。

**問** 新潟市内の事件発生



▲笑い声が響く下校風景

後、特に児童の登下校時に対し、不安を感じる保護者も多かったと思う。

費用が高額でシステム導入が困難であれば、保護者がICタグを個人で購入し、学校に持ち込むことは教育委員会として許可できるのか。

**教育長** 携帯電話の持ち込みは基本的には不可。ICタグについても保管場所の問題や、他の児童

が興味を持つことも考えられるため、実態について研究を進めたい。

**問** 安全確保の方法を、子どもがいざというときに冷静に対応できるように、体験を通して学ばせる取り組みも必要ではないか。

**教育長** 犯罪の多様化に対応するためにも体験型の安全教室の実施は必要。現在、各学校において実践的な訓練となるよう

改善を指示している。

**問** 安心教室といった防犯授業を無償で実施している企業もある。内容を精査してみてもどうか。

**教育長** 安全教育の観点から導入可能か確認をしている。

**問** 本町にとって、地域における人的見守りを支援するシステム構築と、子ども自身の危険回避力の向上の両者が必要と思う。

登下校の安全対策について、本町には何が必要か。

**教育長** 地域と連携が取れるかが重要。「子ども110番の家」の機能確認や、「ながら見守り隊」の募集等も、本町にとって必要と思う。

## フッ化物洗口の現状は

### 教育長 中学校2学期から実施目標

**問** 昨年の第2回定例会で、小学校でのフッ化物洗口は平成29年度内実施目標と答弁していた。取り組みの現状は。

**教育長** 当初目標から少し遅れたが、町内全小学校でフッ化物洗口を開始する予定である。

**問** 中学校でも早めの導入に向け努力するとしていたが進捗状況は。

**教育長** 中学校では2学期から実施できるよう準備を進めている。



あおき じゅん 議員

# ネット環境どう付き合うか

## 教育長 習慣付けが大切である

**問** WHO世界保健機関は、スマートフォンやゲームのやり過ぎで、日常に支障を来すゲーム依存症、ゲーム障害に対し、国際的に疾患として認められた。

**教育長** 平成29年度のデータによると、小学校男子は8種目、女子は7種目、全国・県平均を上回る。中学男子は6種目、全国・県平均を上回るが、中学女子においては、4種目において全国・県平均を下回った。

**問** 小中の体力測定は、移行はどうか。また近隣市町村と比べてどうか。

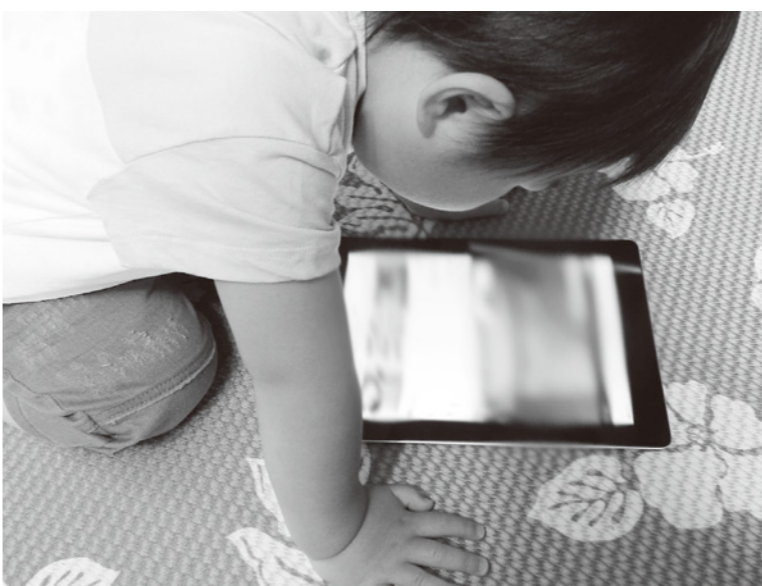
**教育長** 現時点ではない。

**問** 小中のネットトラブはあるか。

**教育長** 現時点ではない。また、運動に興味がない子どもについては、学校体育の中で指導していく。

**問** 幼小中のネット関係についてどのような指導をしているか。

**教育長** お便りや、アンケートを出しているが、クラブ活動に所属する子ども減少傾向にあり、体力の低下も危惧されている。



▲時間を決めて遊ぶうね

## デマンドタクシー 試験的にできないか

### 町長 いろいろと検討中である

**問** 以前も質問し、町でも検討に入っているが、高齢者の自動車事故の増加、免許返納後の移動手段など、デマンドタクシー方式の導入の必要性は大いにあると思う。町全体での導入はまだ難しいと考えるが、試験的に、高齢者、生活困窮者、ひ

とり親家庭などを対象にできないか。

**町長** 高齢者の自動車事故は都市部や地方に関係なく共通の課題である。費用対効果も含め、どのような形が一番良いか、前向きに検討を加えているところである。

## まだまだできるふるさと納税

### 町長 気持ちの上では1億から2億だ

**問** 毎度の質問であるが町ふるさと納税についての取り組みはまだまだできると思う。弥彦村にできて、聖籠町にできないことはない。町には地方創生のスペシャリストもいる。町民のため、町農業の活性化のためにも目標額を1億、2億と見据え、さらなる努力が必要と考えるが。

**町長** 気持ちの上では1億、2億の設定をしながら努力していきたい。米をきっちりPRしていくこと。農家との連携などさらに踏み込んで検討していく。目標は常に大きく、である。

# 行政改革の具体的な中身は

## 町長 行政のスリム化

**問** 行政のスリム化の具体的な中身は何か。

**町長** 厳しい財政状況を踏まえ、行政のスリム化やコストの再編に努めていく。既に4月から各課へのヒアリングを実施している。最終的には、来年度予算に反映させる。

**問** 町長は、自ら始めた事業だからやめられない、ということはないか。

**町長** 自分のまいた種は自分で刈り取らなければならぬ。事業の優先順位を踏まえ、財源との引き合いの中で執行するという考えだ。

**問** 例えば、「ざぶくん館」の源泉掘削について。1、2年思うような結果が出なかった場合、極端な話、第三者に売却する、という気持ちもあるということか。

**町長** さまざまな意味で経営改善してもらっている。入館者も徐々に増加している。町の経済の活性化や観光・健康増進などの拠点として、町民の理解を得ていきたい。

**問** 現時点で、ある程度まとまった結果はあるか。

**町長** 副町長が中心となって出された中間報告はある。柏崎市は4月から、課を改変し、庁舎内環境を整備した。町も行政改革でそこまでするのか。

**町長** 子ども教育課など

では、既に取り組んでいる。しかし、場合によっては組織の見直しも出てくる可能性はある。

時代の、住民の要請に、組織がどうあるべきか、という視点で考えている。

子ども教育課など



わたなべ ゆたか 議員



▲既存概念を取り払う気持ちでファイト！

# 就学前教育どうする

## 町長 12年カリキュラムの流れの一つ

**問** 国は、消費税2%の一部を子育て世帯に重点的に投資する方針である。町長は、この方針をどう受け止めるか。

**町長** 幼児教育の3歳から5歳児教育に関わる年齢層だと思ふ。時代の流れを考えると、小1プロブレムを発生させないような、幼児教育の質の向上の仕方があると考える。町の、12年カリキュラムの教育方針の一つと理解している。

**問** 私は、就学前教育そのものが、教育の中で特別、重要と考える。過去の定例会で3度、予算付けをお願いしてきた。町の全ての政策につながるものなので考えてもらいたい。

**教育長** 教育長は、ペリー就学前教育についてどう認識しているか。

**教育長** 家庭に代わって、幼少期に身に付けなければならないことの、習慣付けが大切である。そのため環境の充実は重要と認識している。

友達といかに付き合うかも含めて、教育の大切さを感じている。





おがわ ますいちろう 益一郎議員

問 渡邊町政は平成6年から今日まで24年間、約四半世紀の間、聖籠町のかじ取りをしてきた。渡邊町長はこの24年間、平野、長谷川両町政が築き上げた豊かな財源を労せずして使ってきた。しかし、今、町の財政調整基金は5億円しかない。友好交流都市協定を結んでいる三重県川越町は同じ人口規模でも200億円超の基金を有している。

渡邊町長が今まで執行した事業のうち三角やバツや黒丸の部分を列挙する。これらの事業をどう正す。  
①町内バス委託事業に約5600万円の支出、収入200万円、この費用対効果は論外である。循環バスを続けるのか。デマンドタクシー制度の導入も検討せよ。  
②生ごみ事業の運搬委託に3100万円、堆肥化施設に1500万円、合

計約5千万円。本来の目的に沿った事業か検討せよ。  
③NPO法人環境美化ネットせいらうの花事業補助金860万円、業務委託料550万円。町民の協働で自主的な活動に補助金を出す事業に工夫せよ。  
④空き家対策喫緊の課題である。空き家100棟超。環境破壊や防災面で問題だが個人の所有権のため本人の理解と協力が必要。補助金の活用30万円上限も含め、メニューの使い勝手を検討せよ。  
⑤町臨時職員の採用と活用、特に学校関係。町内のこども園、小学校、中学校で臨時、パートで74人いる。小、中学校は基

本的には県から職員が配置されている。臨時職員等は町の経費で採用している。この臨時職員賃金等、約1億2500万円は豊かな町の実態である。  
⑥次第浜橋の右岸下流約500メートルの地に7千平方メートル超の土地を3千万円で取得。臨海公園計画という壮大な夢の地は、今荒れ放題の二束三文の土地である。  
この加治川右岸の塩漬けの土地をどうする。  
⑦地場物産館の運営はテナント数軒、とれたて市場と魚屋など、テナントが入らない理由は、今の状態では商売にならないからである。知恵が必要。  
⑧加工センターは、1億円近い金で町の農業振興、所得倍増、6次産業の定着化をうたって農家の夢を膨らませた。今は鳴かず飛ばずである。ふるさと納税の発信基地などとして加工センターの利活用を知恵を出せ。

# 町長 今後選挙公約の中で訴える 渡邊町政の問題点を正す

町長 これまでの町政運営において課題化されている重要な内容である。指摘の点については、今後、選挙公約の中で訴えていきたい。



▲入りやすい役場庁舎に

一口メモ ※財政調整基金 地方公立団体が年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金

# 本町はお金持ちの町か

## 町長 金持ち貧乏の町



たなか ともゆき 智之議員

問 町長は3月議会において「引き続き町税等の財源確保が厳しく、厳しい財政運営が続く」と述べた。実際、町税収入は平成26年度の約45億円から本年度予算では約43億円に減少。また、平成14年度には約54億円だったが、歳出は当時も今も約70億円だ。つまり家計でいえば支出は変わらず給料は減少という状況だ。そして町は不足分を起債、つまり借金で補っている。

町は金持ちの町というイメージを持つ。この状況では、町民も町に依存しがちになり「協働による町民自治」という意識は浸透しない。聖籠町にはなぜ貯金がないのか。なぜ借金が膨らみその金はどこに使われたのか。今後どうやって借金を返済するのか。この先これらを町民と共に考えなければならぬ。本町はお金持ちの町か。  
町長 本町は昭和59年度以来、不交付団体だが、現状では東港立地企業からの税収入は減少しており、財政力指数も1・1程度に推移。だが交付団体から見れば恵まれた財政状況といえる。しかし近年、社会保障制度に基づく子育て・医療・介護など、国と地方の役割分担に基づく費用負担が増加。国の制度で交付税措置される事業も増えているため、極めて厳しい。製造業は他市町村から



▲掘削工事に高いタワーが出現

見れば恵まれた財政状況にあるので、いわゆる金持ちの町と見られるが、現状と厳しい財政状況から「金持ち貧乏の町」だ。また、財政力指数が非常に良い時期もあったが、その財源は、町民会館や統合中学校の整備など、時々の課題に投資しながら町民の要請に応じてきた。

下水道事業は前長谷川町長が政策的に計画し、国の認可をとって進めた事業で、建設整備を私が引き継いだ。本来なら県でやる事業だが、現状は町が償還せざるを得ない。

# 子どもたちの学力向上策は

## 教育長 授業改善と総合的な学習

問 本町小・中学校の全国学力テストの結果は毎年全国平均を下回っている。今後、学力向上のためにどのような取り組みを進めたいと考えるか。  
教育長 全校体制での授業改善と系統性のある総合的な学習の時間の構成が必要。具体的には課題とまとめのある授業。授業の振り返りを記述できる授業である。総合的な学習では、各地域で地域素材を教材化したい。



議員研修 ▶平成30年5月16日◀

# 議会基本条例を考えるはじめの一步

講師：新潟県立大学 田口准教授



▲新潟県立大学 田口准教授

## 議会活性化のために何が出来るか

- ▼ 全国で町・村は、927の自治体があります。
- ▼ 議会基本条例を制定しているのは、約30%の290自治体です。
- ▼ 政治倫理条例等を制定しているのは、約20%強の248自治体です。
- ▼ 議会活性化のために何が出来るか、各自治体、さまざま取り組みをしています。
- ▼ 休日議会を開催している町村は27。
- ▼ 夜間議会を開催している町村は14。
- ▼ 模擬議会を開催している町村は、対象別に、生徒・学生は187。女性は7町。
- ▼ 住民懇談会や議会報告会を実施している町村は369。
- ▼ 議会モニター、議会アドバイザーを導入している町村は49。

※講師からは、聖籠町議会が議会基本条例を制定することで、議会と住民の距離はどう変わっていくのか、問題提起がありました。

▼平成29年1月から2月にかけて行った「議会アンケート」の結果をどう考えるか。世帯で1人の回答者で、有効回収率12・4%だという実情を議会としてどう捉えるか。

▼議会と住民の距離をどうしたいのか。例として、



▲みんなではじめの一步 (議会基本条例)

## 議会基本条例制定に向け、留意すべき点

平成29年度、普通交付税が不交付の市町村は、全国で75市町村です。そのうち、町村は30です。

議会基本条例を制定済みのところは町で11、村で1。

- ▼ 町政の存続。
  - ▼ 歳入(償却資産税)の確保。
  - ▼ 人口構成の維持。
- ※講師からは、聖籠町議会として、特に、償却資産税の確保のためにも、東港工業地帯の企業や従業員などとの関係性を密にしていけることが今後、重要ではないか、と提言がありました。



▲町の観光の顔「ざぶ〜ん」

町や、委託されている「聖籠の杜」も頑張っている姿を示してから。そういう期間を与えるべきということで反対する。

反対 渡辺豊議員

予算を修正して、10日余りで考えを変更することはできない。後世にツケを残さないということか。修正に至った動機があるのだからそれを覆すにはまだまだ足りない。

賛成 宮沢光子議員

「聖籠の杜」の決算が終わってからも遅くないのに、なぜこのように出したか。反対する。

賛成 宮沢光子議員

目に見える形で源泉掘削が行われれば、町民は安心するのではないかと。また、広報などで説明しなければならぬ。町が源泉井戸の掘削が必要と決断したことは、執行部における危機管理の発揮と思う。

賛成 五十嵐利栄議員

今回の執行部原案には賛成する。

3月議会で修正動議を

出したとき、私は再予算は一刻も早く出した方が良くと言ってきた。「ざぶ〜ん館」は、町の活性化の大事な要素だから温泉を止めるわけにはいかない。今回出された改善計画には、損益分岐点も出ている。方針、具体的な方策、営業活動の強化等出ているので期待する。

「ざぶ〜ん館」で働く人々の一層の努力を願い、賛成する。

賛成 宮沢さやか議員

政策的位置付けやその意義からも、今後安定したお湯の供給を図るために、新たな源泉を掘削することはやむを得ないものと理解する。「聖籠の杜」から出された資料では、今後の戦略まで期日が明確に提示されている。今回経営戦略が明確に示されたことなどの理由で、原案に賛成する。

賛成 田中智之議員

「ざぶ〜ん館」は旧態依然たる経営がなされてきた。本会議でも源泉に対する質問や要望がなされた。

賛成 田中智之議員

依然たる経営がなされてきた。本会議でも源泉に対する質問や要望がなされた。

約1億円の金額が、なぜ随意契約なのか。また、なぜ1

出てきた。しかし、町も「聖籠の杜」もじり貧となった現状から目を背けてきた。今、「聖籠の杜」から出された改善計画の方針を着実に進めていけば経営改善は期待できると判断する。強い決意が伝わるからである。以上のことから、幾多の要望を付した上で賛成する。

採決 賛成9反対4で可決

## 第2回臨時会

4月26日、第2回臨時会が1日間の会期で開かれました。

### 源泉掘削工事請負契約の締結

予定価格が5000万円以上のため、議会の議決を求めるものです。

### 主な質疑

【小川益一郎議員】約1億円の金額が、なぜ随意契約なのか。また、なぜ1

者の随意契約なのか。

【税務財政課長】地方自治法、地方自治法施行令、町財務規則により、1者随意契約とする。NNC エンジニアリング社は、県内でも29件の施工実績がある。

【小川益一郎議員】二度と出なくなるのではないようになっているが、アフターケアはどうなる。

【保健福祉課長】湯が出たら既存の槽などにつなぐが、既存の井戸は塞ぐ。配管については、強度のあるものになるので耐用年数は長くなるかと考える。

【渡辺豊議員】施工業者と補償についての契約事項はあるか。

【保健福祉課長】約定は特

段交わしていない。

【五十嵐利栄議員】予算より300万円ほど安い契約になっているがこれで良いか。新しい源泉はいつ頃供用できるか。新体制でのスタートに当たり、その周知についての考えはどうか。

【保健福祉課長】附帯工事については入札済みで、540万円で契約した。湯の供用は10月上旬に予定している。

【町長】3点目は、現在関係部局間で調整しながら進めている。

【小川勝也議員】設計はNNCエンジニアリングの技術者と思うが、どの程度の技術者がいるのか。

【保健福祉課長】技術者に

については、資料がないので返答できない。

【小川勝也議員】相見積もりがない理由は。

【税務財政課長】この業者が、当初から掘削工事と維持管理を担当してきた経緯から、信頼が置けると選定したものである。

討論 なし 採決 賛成10反対2で可決

## 第3回臨時会

5月8日、第3回臨時会が1日間の会期で開かれました。

### 一般会計補正予算

県知事選挙費用として798万1000円を追加するものです。

討論 なし 採決 全員賛成で可決

## 聖籠町議会がしなくてはならぬこと

- ▼ 町政の存続。
- ▼ 歳入(償却資産税)の確保。
- ▼ 人口構成の維持。

※講師からは、聖籠町議会として、特に、償却資産税の確保のためにも、東港工業地帯の企業や従業員などとの関係性を密にしていけることが今後、重要ではないか、と提言がありました。



## 日本一の議会広報に学ぶ 広報広聴

### 広報広聴

6月28日、埼玉県寄居町へ視察研修を行った。平成29年度町村議会広報全国コンクールで、寄居町の「お元気ですか寄居議会です」84号が、最優秀賞（第1位）を受賞した。

寄居町議会だよりの大きな特徴は、統一テーマを定めた表紙シリーズと全ページに何らかの形で、町民の顔と声を掲載していることである。掲載した数を、声メーターとして、表紙にカウント数を載せている。77号から現在88号まで、町民の参加数264人である。

（文責 宮沢光子）

## 見て聞いて

# 委員会

## 条例制定に向けての研修開催

### 議会運営

5月16日、議会基本条例制定に向けて、専門的講師を招いて研修を開催した。講師は新潟県立大学准教授 田口一博先生にお願した。

研修は、田口先生独特の切り口で指導をいただき、議会運営委員会一同、今後の基本条例制定の具体的な作業を進める上で大きな力を得ることができた。

（文責 五十嵐利米）



## 加治川右岸の現状調査と 聖籠中学校を視察

### 総務文教

6月5日、加治川右岸のごみ不法投棄の現状と、中学校における進路指導の基本的考え方・現状と課題について調査した。

以前、加治川右岸の町有地（約7千平方メートル）には、ごみの不法投棄が日常化していたが、諸対策によって不法投棄はなくなったと報告されていた。今回の調査でも不法投棄はなく、これまでの対策の成果が表れたものと思われる。今後町には、この町有地をどのよう

（文責 田中智之）



## 話し合った

# レポート

## 再発防止に努めよ

### 厚生産業

6月22日、厚生産業常任委員会を開催し、一般会計を含む、8議案について調査した。

主なものとしては、昨年網代浜海水浴場にて起きた海難事故について、改善策が示された。今までは、監視員が泳区域を区切るアワロープを水中に設置していたが、今年から「海レクサポートせいろう」に委託することになった。

（文責 青木 順）



# みんなのほのぼのファミリー



たみや  
**田宮 マリさん**  
(蓮濁)

## みんなで協力し合っています

### ◎ 家族構成は

両親夫婦と娘2人です。両親は、農業をしております。両親は溶接作業員をしています。長女は高校2年生で次女は中学2年生で、それぞれ家族みんな頑張っています。忙しい毎日ですが、楽しく過ごしています。

### ◎ 家族で協力し合っていることありますか？

みんなで、協力しているのは田植えと稲刈りです。田植えは、親戚も集まり泥まみれになりながらも終わるまで頑張っています。稲刈りでは、体がチクチクになっても耐えて休憩を取りながら協力しています。

### ◎ 将来の家族の夢は

家族みんなが、毎日元気で健康に過ごすということ。食事は、体に良いものをバランス良く食べて、家族みんなが健康で長生きしたいです。

### ◎ 聖籠町に望むことは

私の住んでいる家の前の道路は、狭いため大型除雪車が入れなく、除雪してもらえません。何とかしてほしいです。



## お知らせ

～ information ～

☆ 議会を傍聴にきませんか

次回の定例会は、**9月10日(月)**開催です。

午前9時30分から開会します。お気軽に傍聴においでください。また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができます。ぜひお聞きください。  
なお、9月、3月定例会の最終日はラジオ放送がありません。よろしくお願いいたします。

### ★表紙の写真★

「声を限りのエール交換」

(蓮野小学校運動会)

5月26日(土)、真っ青な空の下、応援団の勇姿が躍動しました。

(撮影 渡辺 豊)

### 編集委員のつばやき

広報編集委員となり3年が経とうとしています。記事のレイアウトや構成等、議会事務局の協力を得ながら委員全員で編集作業に奮闘しています。

町のイベント等で腕章をつけた議員を見かけたことはありますか？表紙写真を含め、写真撮影も委員の仕事の一つです。写真班は3人。各小学校区に1人ずつの担当となっています。姿を見かけた際にはぜひ、お声がけ下さい。皆さんが議会だよりに「登場」していただけることも写真班の喜びの一つです。委員としての任期もあと一年。今後わかりやすく、読みやすく、親しまれる議会だよりづくりに邁進していきます。

広報広聴常任委員会  
委員 宮沢 さやか

### 発行責任者

議長 田村富美男

### 広報広聴常任委員会

委員長 宮沢 光子

副委員長 小川 勝也

委員 中村恵美子

渡辺 豊

長谷川六男

宮沢さやか

発行 新潟県聖籠町議会  
編集 広報広聴常任委員会

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

[聖籠町議会](#)

[検索](#)

せいろう議会だよりは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。